

平成28年度「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」委託事業  
成果報告書

**『経営基盤強化を担うイノベーション人材が育つ  
「MBAエッセンシャルズ」プログラム』**

名古屋商科大学

## 総括

本学が文部科学省より「高度人材養成のための社会人学び直しプログラム」として委託を受けた事業は「経営基盤強化を担うイノベーション人材が育つ『MBAエッセンシャルズ』プログラム』である。平成28年度に実施した本事業の成果について総括する。

まず、平成28年度に本事業において開講した講義科目ならびに講座は、MBAエッセンシャルズ・単科科目として名古屋・東京・大阪の3キャンパスにて66科目、社会人のためのビジネス資格対策講座とし名古屋キャンパスにて開講した6講座である。開講科目・講座の一覧と受講生の内訳は、別添資料1（P.2）のとおりである。

本学のMBA エッセンシャルズは、平成24年度に開講以降、受講生数が順調に増加してきた。平成25年度は742名、平成26年度に本委託事業に採択されたことで広報を精力的に行なった結果856名となり、平成27年度は履修証明プログラムを導入したことで飛躍的な受講生数の増加があり1556名、平成28年度は1329名となった。また、本事業では、我が国の成長戦略の一つともなっている「女性の活躍」「女性の社会進出」の推進に寄与すべく女性のキャリアアップや学び直しに繋がる講義科目やビジネス資格対策講座を開講し、受講生募集活動においても特に女性をターゲットとした広告を積極的に実施した。この結果、本事業が始まった平成26年度には女性割合が17.8%であったが、平成28年度には30.1%に高まった。女性受講生の内訳は別添資料1（P.4）のとおりである。また受講生を獲得するために行った広報活動並びに普及活動の詳細は別添資料2（P.5）のとおりである。

本事業実施においては、産業界との組織的・実質的な連携の確保が求められており、本事業実施にあたり、「次世代産業人キャリア・ディベロップメント協議会（略称：CD協議会）ならびに「プログラム開発委員会」を設置し、構成員に企業に委員の委嘱を行って産業界との協働体制により、本事業の自己点検・評価、カリキュラム開発等を行った。平成28年度に実施した産業界との「協議の場」や学び直し学修ニーズに関する聴取や意見交換、次年度の計画に向けてのカリキュラムに関する検討会などは、別添資料3（P.7）のとおりである。

また、本事業における自己点検として、単位認定率、成績評価結果（GPA）、受講生による授業の満足度調査結果をもとに分析を行っているが、本事業で開講されたMBAエッセンシャルズとビジネス資格対策講座の実績資料は別添資料4（P.11）のとおりである。

本事業の普及活動としては、本学のHP上からの本事業に関する情報公開、受講生募集、媒体を使ったプログラム紹介・受講生募集、ならびに山梨大学が主導している高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラムポータルサイト（<http://www.s-manabinaoshi.jp/>）への情報提供などを実施した。そして、社会人に学び直しの意義を喚起させる目的で「社会人学び直しシンポジウム」を開催した。シンポジウムの概要は別添資料5（P.12）のとおりである。

「履修証明プログラム」については、平成28年度9月に5名、平成29年度4月に35名が科目等履修生として入学した。受講生の選考方法や選考結果は別添資料6（P.13）のとおりである。

MBAエッセンシャルズ単科科目受講生へ受講後のアンケートを行った。受講生からは学び直しを行った動機として自己啓発や仕事に必要な知識やスキルを得たいという目的が多く挙げられた。学びの成果として、学んでいることが周りに評価された、いま従事している仕事に役に立ったという感想があった。アンケート結果は別添資料7（P.15）のとおりである。

## 1.MBAエッセンシャルズ（単科科目）開講一覧

No.	キャンパス	科目	教員	日程
1	名古屋	クリティカルシンキング（春学期）	三宅 光頼	2016：4/9,10
2	名古屋	ビジネスプレゼンテーション	伊藤 武彦	2016：4/23,24
3	名古屋	ファイナンシャルエッセンス	小林 武	2016：5/7,8
4	名古屋	企業価値向上のための財務戦略	辻 正雄	2016：5/21,22
5	名古屋	アカウンティングエッセンス	呉 重和	2016：5/28,29
6	名古屋	マーケティング戦略	長沢 雄次	2016：6/11,12
7	名古屋	B2Bマーケティング	村上 功	2016：6/18,19
8	名古屋	リーダーシップ開発	伊藤 武彦	2016：7/2,3
9	名古屋	戦略的品質経営	望月 広愛	2016：7/16,17
10	名古屋	組織行動マネジメント	大中 忠夫	2016：7/30,31
11	名古屋	クリエイティブシンキング	北原 康富	2016：10/1,2
12	名古屋	行動観察とビジネス戦略	納村 信之	2016：10/15,16
13	名古屋	マネジメントエッセンス	植田 統	2016：10/29,30
14	名古屋	マーケティングエッセンス	村上 功	2016：11/19,20
15	名古屋	戦略的ネゴシエーション	田作 朋雄	2016：11/5,6
16	名古屋	経営戦略	植田 統	2016：11/26,27
17	名古屋	グローバル経営のためのマネジメント戦略	大槻 奈那	2016：12/10,11
18	名古屋	デザイン思考とイノベーション	井坂 智博	2016：12/17,18
19	名古屋	ビジネスモデルイノベーション	小山 龍介	2017：1/28,29
20	名古屋	ファミリービジネス	落合 康裕	2017：2/4,5
21	名古屋	クリティカルシンキング（秋学期）	三宅 光頼	2017：2/4,5
22	大阪	ファイナンシャルエッセンス	田中 誠和	2016：4/16,17
23	大阪	ビジネスプレゼンテーション	伊藤 武彦	2016：4/30,5/1
24	大阪	マーケティングエッセンス	村上 功	2016：5/7,8
25	大阪	マーケティング戦略	村上 功	2016：5/21,22
26	大阪	リーダーシップ開発	伊藤 武彦	2016：6/4,5
27	大阪	意思決定のための企業分析	野坂 和夫	2016：6/18,19
28	大阪	戦略的品質経営	望月 広愛	2016：7/2,3
29	大阪	B2Bマーケティング	村上 功	2016：7/16,17
30	大阪	クリティカルシンキング（春学期）	長沢 雄次	2016：7/30,31
31	大阪	クリティカルシンキング（秋学期）	三宅 光頼	2016：10/1,2
32	大阪	経営戦略	植田 統	2016：10/15,16
33	大阪	戦略的ネゴシエーション	田作 朋雄	2016：10/22,23
34	大阪	クリエイティブシンキング	土屋 継	2016：11/5,6
35	大阪	マネジメントエッセンス	三宅 光頼	2016：11/19,20

36	大阪	行動観察とビジネス戦略	納村 信之	2016 : 12/3,4
37	大阪	ビジネスクリエーション	土屋 継	2016 : 12/17,18
38	大阪	ビジネスモデルイノベーション	小山 龍介	2017 : 1/7,8
39	大阪	グローバル経営のためのマネジメント戦略	大槻 奈那	2017 : 1/21,22
40	大阪	ファミリービジネス	角谷 直樹	2017 : 2/4,5
41	東京	クリティカルシンキング (春学期)	土屋 継	2016 : 4/9,10
42	東京	企業価値向上のための財務戦略	辻 正雄	2016 : 4/23,24
43	東京	Business Presentation※	Nigel Denscombe	2016 : 5/6,13,20,27,6/3
44	東京	ファイナンシャルエッセンス	岩澤 誠一郎	2016 : 5/7,8
45	東京	Winning on the Global Stage※	Stefan Lippert	2016 : 6/4,5
46	東京	リーダーシップ開発	伊藤 武彦	2016 : 6/11,12
47	東京	組織行動マネジメント	大中 忠夫	2016 : 6/25,26
48	東京	アカウンティングエッセンス	山田 有人	2016 : 7/2,3
49	東京	ビジネスプレゼンテーション	伊藤 武彦	2016 : 7/9,10
50	東京	Megatrends of the 21st Century※	Stefan Lippert	2016 : 7/9,10
51	東京	マーケティングエッセンス	山岡 隆志	2016 : 7/16,17
52	東京	戦略的品質経営	望月 広愛	2016 : 7/30,31
53	東京	クリティカルシンキング (秋学期)	土屋 継	2016 : 10/1,2
54	東京	企業のグローバル化と国際税務	山田 有人	2016 : 10/8,9
55	東京	Global Manager Development※	Nigel Denscombe	2016 : 10/15,16
56	東京	クリエイティブシンキング	土屋 継	2016 : 10/22,23
57	東京	デジタルマーケティング	山岡 隆志	2016 : 11/5,6
58	東京	Business Negotiation※	Nigel Denscombe	2016 : 11/11,18,25,12/2,9
59	東京	マネジメントエッセンス	植田 統	2016 : 11/12,13
60	東京	New Market Entry※	Nigel Denscombe	2016 : 11/19,20
61	東京	グローバル経営のためのマネジメント戦略	大槻 奈那	2016 : 11/26,27
62	東京	ファミリービジネス	落合 康裕	2016 : 12/10,11
63	東京	意思決定のための企業分析	野坂 和夫	2016 : 12/17,18
64	東京	戦略的ネゴシエーション	田作 朋雄	2017 : 1/7,8
65	東京	デザイン思考とイノベーション	井坂 智博	2017 : 1/21,22
66	東京	ビジネスクリエーション	加藤 和彦	2017 : 2/4,5

※のついた科目は英語による開講科目

## 2.ビジネス資格対策講座

No.	キャンパス	科目	日程
1	名古屋	ビジネス会計検定2級	2017 : 2/25,3/4,11,18
2	名古屋	メンタルヘルス・マネジメントⅡ種	2017 : 2/11,25,3/4,11
3	名古屋	日商簿記3級	2016 : 12/10,17 2017 : 1/21,28,2/4,11,18,25
4	名古屋	日商簿記2級	2016 : 12/10,17 2017 : 1/21,28 2/4,11,18,25
5	名古屋	TOEIC600点対策	2016 : 10/29,11/5,19,26,12/3,10,17 2017 : 1/21,28
6	名古屋	宅地建物取引士	2016 : 4/23,30,5/21,28,6/4,11,18, 7/9,16,9/17,24,10/1

## 3.MBAエッセンシャルズ受講生数（期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	延べ人数	実人数
受講者数	1329	482

※受講者数のうち外部受講生（社会人）は732名

### 外部受講生（社会人）の内訳

	延べ人数	実人数
外部受講者数	732	238
うち女性	204 (27.8%)	60 (25.2%)
うち企業派遣	100 (13.7%)	84 (35.3%)

## 4.ビジネス資格対策講座（期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	延べ人数	実人数
受講者数	42	42

※受講者のうち外部受講生（社会人）は26名

### 外部受講生（社会人）の内訳

	延べ人数	実人数
外部受講者数	26	26
うち社会人	26 (100.0%)	26 (100.0%)
うち女性	23 (88.5%)	23 (88.5%)
うち企業派遣	0 (0%)	0 (0%)

©MBAエッセンシャルズとビジネス資格対策講座総受講生の内、女性の割合は30.1%。

## 広報活動並びに普及活動に関する報告

### 1.MBAエッセンシャルズプログラム説明会

社会人学び直しプログラムやMBAに興味・関心を持っている外部生を対象に本プログラムの概要、受講方法、受講生募集要項等について説明、質疑応答、個別相談等の内容にて説明会を開催した。

#### ①説明会の内容

- ・ プログラム説明
- ・ 本学のMBA単科受講生の体験談
- ・ 模擬講義
- ・ 講義見学
- ・ 専門実践教育訓練給付金制度の制度
- ・ 質疑応答

#### ②開催回数・参加人数

委託事業開始後、計153回の説明会を開催した。

各キャンパスにおける開催数と参加人数は以下のとおりである。

	東京キャンパス	名古屋キャンパス	大阪キャンパス	その他の地方
開催回数	36回	55回	53回	9回
延べ 参加人数	487名	432名	331名	67名

### 2.個別相談

社会人学び直しプログラム、MBA基礎科目の単科受講、履修証明プログラムに興味・関心を持っている社会人に対して随時個別相談を行ってプログラムの説明、受講方法、履修証明プログラム受講申込方法、等々について説明と質疑応答を行った。

個別相談件数は、80件。

### 3.社会人学び直しシンポジウム

社会人の学び直すことの重要性を広く周知することと本学の取組の普及を目的とし、シンポジウムを開催した。産業界から招聘した有識者2名のスピーカーによる基調講演と本学次世代産業人キャリア・ディベロップメント協議会委員（産業界）ならびに本学実務家教員によるパネルディスカッションを行った。詳細は別添資料5の通り。

### 4.媒体を使った広報・普及

インターネット系メディア、雑誌、新聞広告、フリーペーパー等を活用し、プログラムの周知活動ならびに受講生募集活動を行った。

#### ①ウェブ広告

- ・ ポータルサイトへのプログラム紹介掲載（リクルート大学&大学院net）
- ・ Google Adwards 広告

## ② 媒体広告

- ・ 地域情報紙への広告掲載（女性向け地域情報紙シティリビング）
- ・ 名古屋商工会議所機関紙へのチラシ同封
- ・ 雑誌（Forbes Japan、社会人&学生のための大学・大学院選び）
- ・ 交通広告

## 5. その他の広報活動

- ・ ホームページ作成
- ・ DM発送（関東、東海、近畿の企業あて15,000件）
- ・ リーフレット/パンフレット発送
- ・ プログラム案内のメール送付

## 【1】次世代産業人キャリア・ディベロップメント協議会ならびにプログラム開発委員会開催

次世代産業人キャリア・ディベロップメント協議会とプログラム開発委員会は同日に行っており、平成28年4月1日～平成29年3月31日において2回開催した。

### 1. 実施目的

①次世代産業人キャリア・ディベロップメント協議会は、産業界からの次世代人材へのニーズや高等教育機関への要望の聴取を目的として行った。

#### 重点項目

- ・ 女性の活躍のための条件整備：マネジメントの基本リテラシーの学び直し
- ・ グローバル人材の需要：New Asiaでのリーダーシップの発揮
- ・ ビジネスと組織にイノベーションを起こす力：発散型創造型思考力

②プログラム開発委員会は、CD協議会の検討依頼事項の具体化に向けたカリキュラム開発を目的として行った。

#### 重点項目

- ・ 次年度の本事業への反映のための具体的な内容の議論と具体化
- ・ 受講者への事後アンケート（大学側および企業側）の分析、課題発見、開発テーマ
- ・ 事業実践にもとづく価値ある知見やノウハウを、いかに広く社会産業界に還元するかを検討

### 2. 構成員

所属	名前
株式会社アルペン アルペンユニバーシティ 部長	中村 浩
株式会社アルペン アルペンユニバーシティ	清見 賢一
名古屋発條工業株式会社 代表取締役	三輪 佳史
瀬戸信用金庫 人事部副部長	石塚 大祐
瀬戸信用金庫 人事部研修担当グループ長	堀田 克弘
株式会社パーソル総合研究所 ラーニング事業本部 営業部長	小室 銘子
名古屋商科大学大学院 研究科長	北原 康富
名古屋商科大学大学院 研究課長補佐	栗本 博行
名古屋商科大学大学院 事務局長	早川 京子
名古屋商科大学大学院 事務局	上田 麻由子

3. 第1回次世代産業人キャリア・ディベロップメント協議会ならびにプログラム開発委員会報告

【日 時】平成28年9月15日（木）15:00～17:00

【場 所】名古屋商科大学大学院 名古屋キャンパス丸の内タワー

【協議内容】

- ①次世代産業人キャリアディベロップメント協議会の目的の再確認
  - ・女性の活躍に繋がるために必要な条件整備とは
  - ・日本がアジアを牽引する国としてアジアのグローバル環境下でリーダーシップ
  - ・ビジネスと組織にイノベーションを起こす力
- ②平成28年度の新しい取り組みの報告
  - ・コース受講制度の導入
  - ・厚生労働省「専門実践教育訓練給付金指定講座」の指定
  - ・MBAエッセンシャルズの社内研修への導入
  - ・地方創生の取り組みとの協働
  - ・受講生の分析
  - ・外部申込の多い科目、受講生満足度の高い科目
- ③外部受講生へのアンケート調査の報告
  - ・学ぶ動機
  - ・本学での学びをどのように実務に役立てているか
- ④企業人材の育成への本学の学びの導入事例紹介
  - ・企業幹部候補を本学プログラムへの派遣
  - ・企業の自己研鑽学修との提携
- ⑤産業界からの意見聴取
  - ・企業の社員に不足していると感じる能力
  - ・時代の変化に応じて今後必要とされる能力
  - ・産業界の要望に合致する教育内容の検討

4. 第2回次世代産業人キャリア・ディベロップメント協議会ならびにプログラム開発委員会報告

【日 時】平成29年3月11日（土）11:00～12:00

【場 所】名古屋商科大学大学院 名古屋キャンパス丸の内タワー

【協議内容】

- ①平成28年度の事業報告
  - ・受講者の分析
  - ・企業の人材育成への本学プログラム導入事例の紹介
- ②外部受講生へのアンケート調査の報告
  - ・本学プログラムの受講生の感じる利点、改善を求める点
  - ・本学への今後のリクエスト
- ③今後の取り組みについて
  - ・ヘルスケア領域とグローバル領域に特化したトラックの開発
- ④産業界からの意見聴取
  - ・学びを実務に反映できる受講生へのフィードバック方法

## 【2】産業界・社会人ニーズ協議会開催

社会人との学修ニーズ協議会を次のように開催し、本学で提供している全プログラムのカリキュラム編成ならびに教育課程の改善に向けて企業や社会人の学修ニーズの聴取を行った。本協議会には、本大学院のOB&OGの社会人やMBAプログラムへ受講生を派遣している企業の人事担当者が招待された。

特に、平成28年度の協議会においては、本委託事業によるMBAエッセンシャルズの実施結果を報告し、参加者からの本プログラムに関する意見や社会人や企業の立場からの意見や今後の本プログラムに対する学修ニーズを聴取することができた。

### 【Agenda】

- ・本大学院のミッション・教育方針について
- ・カリキュラム体系について
- ・講義の質と内容について
- ・教員の教育と研究に関する質と内容について
- ・修了生との連携、活用、あるいは同窓会について
- ・企業との連携や企業向けサービス拡大について
- ・学生募集ほか対外広報活動の質と内容について

### 1. 平成28年度産業界・社会人ニーズ協議会（会計ファイナンス研究科）

【日 時】平成29年1月28日（土）15：00～16：30

【場 所】名古屋商科大学大学院

（名古屋、東京とTV会議システムにて同時開催）

【出席者】本学側からは大学院Public Relations委員会委員、事務局職員、招待者として社会人（修了生）

所属	名前	名古屋	東京
名古屋商科大学大学院 教授	辻 正雄		○
名古屋商科大学大学院 教授	山田 有人		○
名古屋商科大学大学院 教授	佐野 哲哉	○	
名古屋商科大学大学院 教授	松田 和久	○	
名古屋商科大学大学院 事務局長	早川 京子	○	
名古屋商科大学大学院 事務局	安藤 智之	○	
名古屋商科大学大学院 事務局	山中 裕子	○	
名古屋商科大学大学院 事務局	玉腰 千湖	○	
名古屋商科大学大学院 事務局	上田 麻由子	○	
名古屋商科大学大学院 事務局	青木 葉子		○
社会人	8名	○	○

2. 平成28年度社会人との学修ニーズ協議会（マネジメント研究科）

【日 時】平成29年1月28日（土）17：00～18：30

【場 所】名古屋商科大学大学院

（名古屋、東京、大阪とTV会議システムにて同時開催）

【出席者】本学側からは大学院Public Relations委員会委員、事務局職員、招待者として社会人（修了生、企業経営者、研修担当者）

所属	名前	名古屋	東京	大阪
名古屋商科大学大学院 研究科長補佐	辻 正雄		○	
名古屋商科大学大学院 教授	長沢 雄次	○		
名古屋商科大学大学院 教授	小野 裕二			○
名古屋商科大学大学院 事務局長	早川 京子	○		
名古屋商科大学大学院 事務局	安藤 智之	○		
名古屋商科大学大学院 事務局	山中裕子	○		
名古屋商科大学大学院 事務局	玉腰 千湖	○		
名古屋商科大学大学院 事務局	上田 麻由子	○		
名古屋商科大学大学院 事務局	青木 葉子		○	
名古屋商科大学大学院 事務局	中村 茜			○
企業	5社（5名）	○	○	
社会人	21名	○	○	○

## 1.MBAエッセンシャルズ 科目等履修生の履修結果

成績評価	合格				不合格		受講者数
	A	B	C	D	F	不完全	
合計	67	175	206	107	39	138	732
割合	9.2%	23.9%	28.1%	14.6%	5.3%	18.9%	
合計	555				177		
割合	75.8%				24.2%		

## 2.MBAエッセンシャルズ受講者による授業調査結果

講義終了後、受講生に以下8項目について1から5点の評価をさせる授業調査を行った。

質問項目		平均ポイント
問1	シラバスに記載されている学習目標（Learning Goals）が達成できるよう授業が行われた	4.58
問2	提示された予習の指示および課題は授業の理解を深めるうえで有用であった	4.56
問3	授業におけるケース・スタディあるいは実習・実技は適切であった	4.53
問4	先生の説明は明瞭で聞き取りやすく、プレゼンテーション等を用い分かりやす工夫されていた	4.56
問5	先生は積極的にクラスディスカッションを促した	4.50
問6	先生の教え方には熱意が感じられた	4.70
問7	この授業は私のキャリア形成に資するものであった	4.63
問8	この授業は知的な意欲をかき立て示唆に富むものであった	4.61

## 3.ビジネス資格対策講座受講者アンケート（6講座平均）

評価	割合
大変有意義だった	18 (75.0%)
有意義だった	6 (25.0%)
少々もの足りなかった	0
満足できなかった	0

## 社会人学び直しシンポジウム開催

【日 時】平成29年3月11日（土）13：00～15：30

【場 所】名古屋商科大学大学院 名古屋キャンパス丸の内タワー

【参加者】99名

学び直すことの重要性を広く周知することを目的とし、シンポジウムを開催した。社会に出て実務を経験した後的高等教育機関で学び直した2名のスピーカーが基調講演を行ない、自身の経験を交えて、社会人の学び直しの有益性や、学び直した事をどのように活用しているか事例を交えて紹介した。平成28年度はサブテーマを「輝く女性のキャリア形成」と題して女性活躍推進の助けとなる女性のキャリア形成に焦点をあてた。基調講演者、企業の人材育成担当、本学の社会人教育を担当している教員を交えてパネルディスカッションをし、産業構造・社会構造の変化等が進む中求められている中核的専門人材や高度人材のための社会人や女性等の学び直しについて意見交換をした。

## 【シンポジウム概要】

## ・ 基調講演1

講演者：谷本有香 Forbes JAPAN 副編集長兼WEB編集長

講演概要：女性が出産や育児などのライフステージの変化のなかで、外部環境に影響されにくいフリーランスとしての働き方を選択した。自身に強みをつくるために大学院やビジネススクール等で「学び直す」ことの有益性等を説いた。

## ・ 基調講演2

講演者：中村真紀 ウォルマート・ジャパン・ホールディングス株式会社 執行役員  
シニア・バイス・プレジデント、株式会社若菜 代表取締役社長

講演内容：自分の仕事に必要なスキルは時間とお金を投資して習得すべきという考えのもと、ビジネス全般に通じるスキル、専門分野のテクニカルスキル及び人に関するスキルをビジネススクールで学んだ経験を話した。

## ・ パネルディスカッション

ファシリテーター：本学教授 大槻奈那

パネリスト：同上 谷本有香

同上 中村真紀

株式会社アルペン アルペンユニバーシティ部長 中村浩

瀬戸信用金庫 人事部副部長 石塚大祐

株式会社パーソル総合研究所 ラーニング事業本部 営業部長

小室銘子

本学修了生 中根かつみ

本学研究科長 北原康富

内容：平成28年4月に女性活躍推進法が制定された背景には、産業構造・社会構造の変化等が進む中、女性にも中核的専門人材や高度人材としての役割が期待されている社会背景がある。これを実現させるために女性だけでなく、すべてのビジネスパーソンが実務に必要な能力を学び直す有益性や生涯を通して学び続けることの大切さについて、有識者より女性活躍推進への取り組み状況および今後の社会への期待等を意見交換した。

## 平成28年度9月入学及び平成29年度4月入学 履修証明プログラム受講生募集・選考結果

## 1. 受講生の審査方法

受講申込書類による1次選考後、インタビューにて2次選考を行う。

## ① 受講申込書類

- ・ 受講申込書
- ・ 課題エッセイ
- ・ 卒業証明書
- ・ 学業成績証明書
- ・ 受講選考料振込証明書
- ・ 英語力証明書類（該当者のみ）
- ・ 健康診断書（該当者のみ）
- ・ 派遣証明書（該当者のみ）
- ・ 外国人登録証明書またはパスポートの写し（該当者のみ）
- ・ 留学費支払能力に関する証明書（該当者のみ）
- ・ 日本語能力に関する証明書の写し（該当者のみ）

## ② インタビュー

1名の志願者に対し、2名の面接官（教員）で15分のインタビュー

## 2. 選考結果

平成28年9月

志願者数	1次選考通過者数	2次選考合格者	入学（受講）手続者
6	6	5	5

平成29年4月

志願者数	1次選考通過者数	2次選考合格者	入学（受講）手続者
46	42	36	35

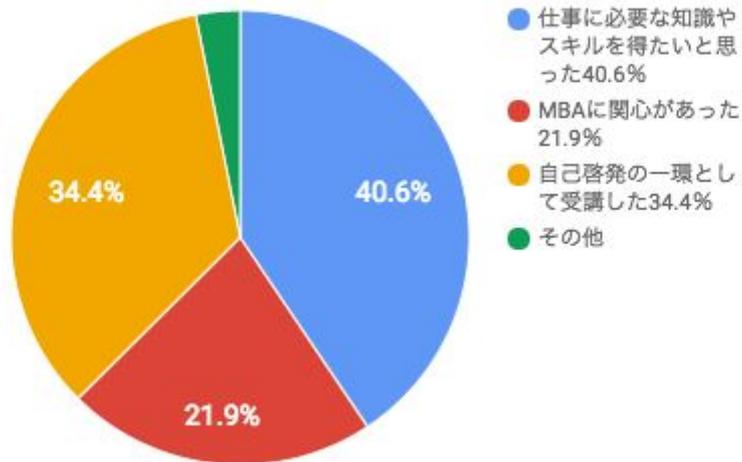
## 3. 入学者数

平成28年度

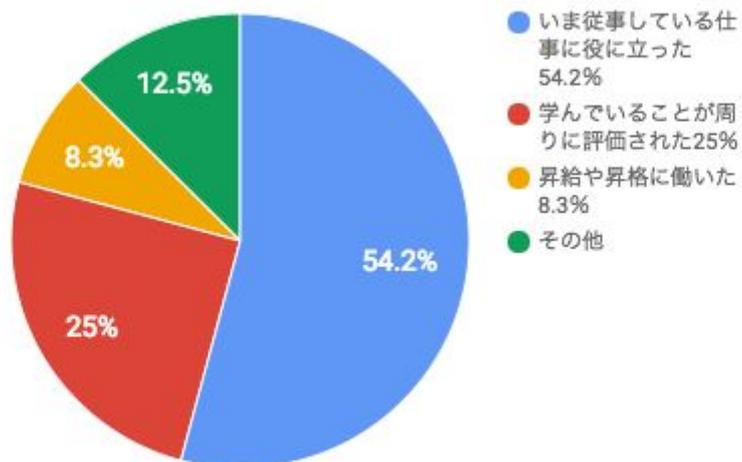
平成28年4月入学	平成28年9月入学	平成28年度合計
12	5	17

MBAエッセンシャルズ単科科目受講生へ受講後のアンケート

1.受講動機



2.受講後に感じたこと



## 様式第 15（無断複製等禁止の標記）

### 無断複製等禁止の標記について

委託業務に係る成果報告書の無断複製等の禁止の標記については、次によるものとする。

本報告書は、文部科学省の「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」委託費による委託業務として、《学校法人栗本学園 名古屋商科大学》が実施した平成 28 年度《経営基盤強化を担うイノベーション人材が育つ「MBA エssenシャルズ」プログラム》の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続きが必要です。